

**2024年度 大阪府訪問看護実践研修
教育ステーション事業
事業実績報告**

市北ブロック よどきり訪問看護ステーション 小川真里子



目標

- 多職種に向けACP研修を成功させ、
地域でのACP定着を促進する。
- 訪問看護サービスに質向上のための
研修事業を実施する。
- コンサルテーション事業について周知し、
活用につなげる。



協力ステーション

10か所

- 旭区 牧訪問看護ステーション
- 都島区 リハプロ訪問看護ステーション・都島
サンルーム訪問看護ステーション
- 北区 ユニケア訪問看護ステーション南森町出張所
- 淀川区 いえすリハビリ訪問看護ステーション
訪問看護ステーションルシア
- 東淀川区 STY訪問看護ステーション
おかもと訪問看護ステーション東淀川
訪問看護ステーション・という
よどきり こども訪問看護ステーション



研修事業



参加者：33名

血流障害や神経障害による足病変のハイリスク患者に対し、予防から支援することができるよう企画しました。

大阪府教育ステーション研修案内



フットケア研修会



訪問看護ステーションの看護師であり、フットケアのスペシャリストでもある先生をお招きし、『足の見方・爪ケア』の基本を学びます。

日時 2024年8月29日(木)12:30~13:30

方法 対面 定員30名

申し込み方法 QRコード または FAX



場所 牧在宅ケアセンター3階会議室
大阪市旭区清水4-2-22

講師 加藤昌子先生
皮膚・排泄ケア特定認定看護師
医療法人財団医道会
十条訪問看護ステーション 管理者

申し込み用QRコード



研修内容

- ① 足の看方や爪ケアについてのアセスメント・実践
- ② 質疑応答

研修対象

フットケアに関心のある看護師・理学療法士・作業療法士

2024年度大阪府訪問看護ステーション実地研修事業
教育ステーション事業

主催：よどきり訪問看護ステーション（教育ステーション）

共催：牧訪問看護ステーション（協カステーション）

参加者：40名

訪問看護師として信頼関係を構築する際のコミュニケーションの基礎知識を身につけ、生活の場で看護を提供するための基礎力の向上、ハラスメント予防、ひいては離職予防、定着につながると考え企画しました。

2024年度大阪府訪問看護ステーション実践研修事業

医療現場のコミュニケーション研修



心を伝える接遇ってなんだろう？

今回の研修は訪問看護師の現場で必要な心（ホスピタリティ）をカタチにして表現する力（接遇力）を養うことで、信頼関係を育むコミュニケーション力の習得をめざします。

研修目標 ☆接遇の重要性を理解する
☆ホスピタリティをカタチで表現する力を養う

研修内容

- ・医療現場の特異性
- ・医療接遇の重要性
- ・接遇の基本
- ・接遇の5原則
- ・信頼関係を育むコミュニケーション

講師 茨木エンタープライズ株式会社
茨木貴子氏 接遇コンサルタント

- ・日時 2024年11月12日(火)12:30-13:30
- ・研修方法 対面 定員 30名
- ・研修場所 牧訪問看護ステーション 3階
- ・申し込み方法 FAX またはQRコード

主催：よどきり訪問看護ステーション（教育ステーション）

共催：牧訪問看護ステーション（協力ステーション）

参加者：14名

例年開催している看護を語り合う研修は、
災害時の備えをテーマに企画しました。

令和6年11月吉日
大阪府訪問看護実践研修事業・教育ステーション事業
主催 よどきり訪問看護ステーション
協力 リハプロ訪問看護ステーション・都島
サン・ルーム訪問看護ステーション

「看護を語ろう」研修

☆ みんなで看護を語りましょう ☆

日々持ち歩く訪問看護バッグ、看護用品に視点をあて、
日常の訪問看護、災害時の訪問看護の備え、大切にしている事を
語り合いませんか。



日 時：令和6年11月28日(木) 19:00～20:00
場 所：なないろ訪問看護ステーション
大阪市都島区都島本通4-22-9 なないろビルヂング
対 象 者：地域で活動する看護師等
(介護施設、訪問看護ステーション、診療所等)
募集人数：20名
参 加 費：無料
申込方法：FAX または QR コード
締 切：令和6年11月22日(金)厳守をお願いします。
問合せ先：よどきり訪問看護ステーション 小川
TEL 06-6324-6548

■FAX でのお申込み FAX 番号 06-6324-6549
よどきり訪問看護ステーション宛
必要事項を記入し、切り取らずに送ってください。

11月28日(木)の研修会に参加します。
事業所名 ()
参加者名 ()
メールアドレス ()

■QRコードでのお申込みはこちら



参加者：45名

感情労働といわれる看護において、怒りの感情とのつきあい方を身につけることは重要であり、生活の場で看護を提供するための基礎力の向上、ハラスメント予防、ひいては離職予防、定着につながると考え企画しました。



感情マネジメント研修

喜怒哀楽の中でも取り扱い注意の**怒り**という感情を理解しコントロールできれば円滑な人間関係、職場環境の改善、パフォーマンスの向上が期待できます。今回の研修では『怒り』の性質や上手な付き合い方を学び、感情マネジメント術を習得しましょう

目標 怒りの性質を学ぶ
怒りへの対処法を学ぶ

講師 茨木エンタープライズ株式会社
茨木貴子氏 接遇コンサルタント

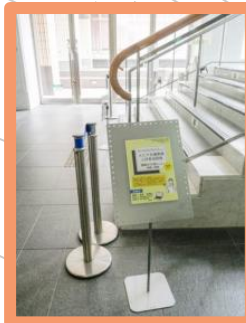


- 日時 2024年12月4日(水)12:30-13:30
- 研修方法 対面 定員 30名
- 研修場所 牧訪問看護ステーション 3階
- 申し込み方法 FAX またはQRコード



主催：よどきり訪問看護ステーション(教育ステーション)

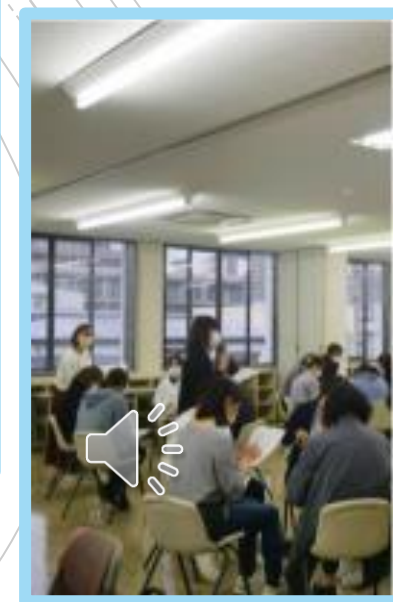
共催：牧訪問看護ステーション(協力ステーション)



ACP支援実践人材育成事業

7月13日 旭区民センター
参加者 45名

11月16日 淀川区医師会看護専門学校
参加者 31名



研修事業 結果と課題

- 今年度の研修は、参加者同士が交流することで学習効果が高まる内容であったため、すべて対面での開催とした。
- ACP支援実践人材育成事業を含め、集合研修を6回おこなった。
- 広報は、研修チラシの郵送、ホームページ、SNSを用いた。
- 研修申し込みは、QRコードの読み取りとFAXで受け付けた。
- 今年度から、申し込み完了後、**受講決定のメールを送付**した。
- アンケート結果から、研修への満足度は高かった。
- 課題としては、集合研修であったこと、研修時間が就業時間中であったことから、開催場所から遠方の事業所の参加が困難であった。開催場所や開催時間に留意していく。



府民への相談支援事業



2024年11月29日

結果と課題

■ 訪問看護の講話（@東淀川区柴島地域）

- 東淀川区医師会の在宅医療・介護連携相談支援室と東淀川区南西部地域包括支援センター、東淀川区訪問看護ステーション連絡会の連携により開催となった。
- 参加者は約10名であった。
- 当該地域には診療所がなく、必要なときに受診できないといった不安の声がかけられた。訪問看護師から訪問看護についての講話、地域包括支援センターの役割について情報提供を行った。
- 同じ区内であっても、各圏域により住民の実情は異なる。
- 各区、各圏域の特性や社会資源の状況を踏まえ、住民の実情やニーズに合った相談支援を行えるようにしたいと思います。



訪問看護体験研修事業



結果と課題

訪問看護に関心のある専門職や看護学生・看護師

- 実施回数 0回

看護管理者等

- 実施回数 0回

課題

- 広報が十分できていなかったことが考えられる。チラシを作成し、ブロック管理者会への呼びかけ等、各種媒体を通じて広報をおこなっていくようにする。



電話相談事業



結果と課題

- **回数 22件**
- **相談内容**は、実務関係、指示書/記録関係の内容、介護職が行う医行為の範囲についての相談が多かった。
- 訪問看護制度の法令遵守のためには、根拠ある解釈が求められるため、気軽に相談できる電話相談事業は効果があると思う。



コンサルテーション事業



結果と課題

対面サポート

- 3回
- 褥瘡ケアに対する相談2件に対し、皮膚排泄ケア認定看護師による専門的な相談支援を行った。コンサルタントからのフィードバックにより、コンサルティは不安に思っていたケアが誤りではなかったことに気づき、自信をもってケアに向かうことができるようになった。
- 訪問看護事業所開設に向けた相談1件に対し、管理者から相談支援を行った。

電話サポート

- 0回

課題

- 目標が未達となった電話サポートについては、他の教育セッションの実施状況を参考に検討する必要がある。



皆さまのご協力に感謝します
ありがとうございました

